

石西礁湖自然再生全体構想(案)の修正点

ページ		指摘・修正事項	対応
全般	委	年号(西暦、元号)の表記を統一	西暦に統一
全般	委	「加弥真島」については、表記を統一	「加屋真島」に統一(国土地理院に確認)。
目次	委	目次を見て、記述内容が理解できるよう目次を再整理。	段落を落として細かく表示
P2	委	西川らの論文については、再度中味を確認し、再記述。	「また、八重山諸島と沖縄本島では一斉産卵型は幼生保育型に比べて遺伝的に差があることが知られています。」と修正
P14	委	統計データに関し、竹富町に係るデータについては、波照間のデータが含まれている。「波照間を除いたデータを求める」もしくは「波照間のデータが含まれていることが分かるよう記述」すべき。	「なお、竹富町については、統計資料の関係上、石西礁湖から離れている波照間島も集計されております(以後、同様)。」と追記
-	委	商店数のデータは不要。	削除
P16	委	「土地利用」に関するデータについては、再確認。	48年に日本復帰をしたため民有地が増えたと思われるが、統計資料にはその理由は記載されていない。
P20	委	「パイナップル栽培面積」については、近年、急激に減少している。記述の必要性も含め、見直し。	「なお、石垣市及び竹富町におけるパイナップルの栽培面積は年々減少し、2004年には石垣市68ha、竹富町19haとなっております。」と追記
P22	委	「サトウキビの生産状況」のデータについては、最新のものに更新。	最新のデータに更新
P29	委	石垣港の水温データについては、再確認(98年は31.2(瞬間)、アベレージは31を切っていたはず)。	「1997年に26.8~28.7 だった8月の日平均海水温の変動幅が、1998年には29.4~30.9 に上昇していた」と修正
P30	委	濁度については、その数値の持つ意味を分かりやすく解説。	濁度のデータからSPSS(底質中懸濁物質含量)の記載に変更
P32	委	「石垣島の気温」については、再確認(月平均気温が31を超えたことはないのでは?)。	「月平均気温」を「気温」に修正
P35,36	委	「クリアランス船の実績」、「船舶乗降員数の推移」については、データを更新。	最新のデータに更新
P48,49	委	目標の記述については、4pの青字部分の記述を踏まえ、記述。	写真等を加えて修正
P4,5	事	マングローブ生態系、海草藻場生態系、干潟といった関連する生態系についても記述が必要だが、各生態系の特徴として記述すべき事項としてどのようなものがあるか。	マングローブ、海草藻場、干潟について追記
P6	事	石西礁湖のサンゴ礁生態系に関して、社会的位置付けとして記述すべき事項は何かあるか。	第1章1.(2)3)サンゴ礁生態系の恩恵として記載
P7	事		1970年の分布状況追記
	事	干潟については、自然環境保全基礎調査を参考の上、新規書き起こしが必要	干潟について追記
P14,15	事	石垣市、竹富町、沖縄県による統計資料を活用し、人口や産業別従事者数、生産額等の推移を整理。	データ整理を行った
P16	事	石垣市、竹富町、沖縄県による統計資料を活用し、土地利用の変遷を経年的に把握。	データ整理を行った
P16	事	その他 農業の現状(農産物の生産状況、作付け面積等)についても触れる必要はないか。	土地利用に含めて記載
P22	事		沖縄県の取り組みを整理
P26	事	畜舎排水等の実態については、どのように現状を把握するか。	排水の実態に関する資料を収集する必要あり
P26	事	農薬等の化学物質による水質悪化の可能性については、論文等をもとに新たに記述。	東大渡辺先生の論文を参考に追記
P26,27	事	生活排水(下水道の接続率、合併浄化槽の設置状況)については、データを精査の上整理。	下水道についてデータ整理を行った
P28	事	水温 これまでに得られているデータを収集、整理の上、記述。	データ整理を行った
P28,29	事	白化 これまでに得られているデータを収集、整理の上、記述。	データ整理を行った
P30	事	濁度 これまでに得られているデータを収集、整理の上、記述。	SPSSとして修正
P31	事	オニヒトデ 最新のデータ結果に基づき、更新・追記。	データ収集中
P32	事	西表国立公園石西礁湖及び近隣海域におけるサンゴ礁モニタリング調査の結果も参考の上、追記。	2004年度のデータ追記
P32,33	事	気温、降水量(時間当たりの降雨量等)、台風の襲来回数(台風によるサンゴ群体の破壊状況も含む)の各変化)等のデータを入手の上、記述	データ整理を行った
P37,38,39	事	漁業利用 最新のデータ結果に基づき、更新・追記。	データ収集中
P39	事	1972~1973年頃にダイナマイト漁の取り締まりが行われたため、ダイナマイト漁はなくなった(=1972年当時はダイナマイト漁が行われていた)。	第1章3.(4)2)漁業利用に記載
P40	事	観光利用 最新のデータ結果に基づき、更新・追記。	データ整理を行った。観光業者数は確認中
P42,43	事	その他 漂着ゴミ、不法投棄ゴミの現状等 について新たに記述。	漂着ゴミについて追記
P48	事		長期目標、短期目標の達成年次を追記
P48,49	事	「人と自然との関わり」について、かつての健全な状態についても記述(但し、現在の社会情勢は1972年当時とは異なる。「自然再生」は、1972年当時の海に戻すことではない。あくまで目標としてイメージしているのが、この1972年当時の海であり、人とサンゴ礁の新たな関わり方を構築することが重要。)	「第3章 石西礁湖自然再生の目標」に記載。
資料3	事		沖縄総合事務局の資料は削除(実施計画で使用する)

委：委員からの指摘を受け修正した事項

事：事務局で修正した事項